

第 350 回研究報告会 (7 月 12 日)

「心理療法における治療目標観：自律的人間と関係的人間」

高森 淳一

治療という実践は価値観と無縁でいられない。個別の問題を扱う心理療法では、治療目標も来談者特異的であるべきだが、メタ水準においてあるトップダウン的な価値観が作動している。心理療法の原版たる精神分析治療では、自己内省を契機とした欲動断念による思考の自律、そしてそこから帰結する内面道徳の確立が目標とされる。約言すれば、啓蒙主義に依拠した「自律的人間」が目指されている。精神分析が欲動論から対象関係論へと変遷しても、自律は「関係からの自立」として保持され、関係からの離脱が治療機序として特筆される。しかしながら、継続する絆こそがひとを成長させ、治癒へと導くことが、近年のボトムアップ的知見によって解明されており、「関係的人間」こそが重要視されねばならない。そうした見解が等閑視されるのは、歴史的産物にすぎない西洋近代におけるアトムの個我という固定観念のためである。「関係的人間」への理解を深めるには、現代物理学あるいは仏教哲学にみられるような個に先立つ関係第一主義の世界観を参看することが必要だ。

連載執筆のねらいと執筆者紹介

天理教の異文化伝道と「文化」の「翻訳」

本連載では、天理教の異文化伝道と「文化」の「翻訳」という主題について探究していく。

天理教の異文化伝道と「文化」の関わりが語られる時、異文化による天理教の「受容」という問いがその中核を成してきたといえるだろう。それは、天理教という一つの宗教伝統とその文化が、異文化と接触する中でどのように受容されるかという問いであり、様々な社会的・文化的な文脈を対象にこれまで多くの研究がなされてきた。

本連載では、そういった関心を共有しつつも、文化がどのように「受容」されるか(されないか)自体から焦点を少しずらし、天理教という宗教伝統に備わっているとされる「文化」が、異文化伝道の文脈で伝道する側によってどのように語られ、そしてその過程でどのように「翻訳」されるかに注目する。それは言い換えれば、天理教を「受け取る側」から天理教を「伝える側」の営みに焦点をシフトさせるアプローチである。それは、これまで日系移民社会を中心に伝道が進められてきた地域や非日系人による受容者が多い地域に注目が集まる一方で、その陰に隠れてあまり語られてこなかった地域や文化圏の伝道者の営みに光を当てようとする試みでもある。

その議論を進めていく上で事例として取り上げるのは、筆者がこれまで天理教海外部の業務ならびに学術研究で関わってきた文化圏の一つであるヨーロッパ、とくにフランスでの伝道事情や歴史である。この地域の大きな特徴としては、日本の旧植民地や日系移民をベースにした布教地域ではない点、また布教拠点が設立された段階から文化活動を軸にした伝道を試みてきたという2つの点がある。とくに、文化活動を通して伝道を行ってきた伝道者の実践や語りを取り上げながら、伝道者が天理教をヨーロッパの地でどのように「翻訳」しようとしてきたかについて論じたい。

加藤 匡人 (かとう まさと)

天理教海外部勤務。天理大学国際文化学部英米学科を卒業後、天理教海外部にて勤務、現在に至る。同部からの派遣留学で、パークレー神学大学院連合 (GTU) 修士課程 (宗教学) を修了。その後、同部からの再留学派遣でロンドン大学東洋アフリカ研究学院 (SOAS) 修士課程ならびに博士課程 (宗教学) を修了し文学博士号を取得。その間、博士課程の研究の一環で南山宗教文化研究所客員研究員、また博士号取得後にロンドン大学東洋アフリカ研究学院日本文化研究所非常勤研究員などを経る。帰国後、天理大学国際学部外国語学科英米語専攻非常勤講師を経て現在は同大学人間学部宗教学科非常勤講師。専門は宗教学研究、天理教の異文化伝道研究。

2022 年度公開教学講座のご案内

— 信仰に生きる『逸話篇』に学ぶ (8) —

2022 年度の公開教学講座は、次の日程で、昨年度と同様にオンラインでの配信を予定しております。ただし、状況に応じて、対面での開催も検討いたします。

- | | | |
|------------|------------------|----------|
| 第 1 回 5 月 | 永尾教昭所長 | |
| | 151 話「をびや許し」 | オンライン配信中 |
| 第 2 回 6 月 | 澤井真研究員 | |
| | 111 話「朝、起こされるのと」 | オンライン配信中 |
| 第 3 回 9 月 | 岡田正彦研究員 | |
| | 139 話「フラフを立てて」 | |
| 第 4 回 10 月 | 八木三郎研究員 | |
| | 108 話「登る道は幾筋も」 | |
| 第 5 回 11 月 | 森洋明研究員 | |
| | 119 話「遠方から子供が」 | |
| 第 6 回 1 月 | 堀内みどり主任 | |
| | 126 話「講社のめどに」 | |

グローバル天理

第 23 巻 第 9 号 (通巻 273 号)

2022 年 (令和 4 年) 9 月 1 日発行

© Oyasato Institute for the Study of Religion
Tenri University

発行者 永尾教昭

編集発行 天理大学 おやさと研究所

〒 632-8510 奈良県天理市杣之内町 1050

TEL 0743-63-9080

FAX 0743-63-7255

URL <https://www.tenri-u.ac.jp/oyaken/index.html>

E-mail oyaken@sta.tenri-u.ac.jp

印刷 天理時報社

Printed in Japan